

令和元年度琴浦町中学生アンケート実施結果報告書

【調査目的】

この調査は、平成27年度に策定した「琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における取り組みの中で実施しました。

少子高齢化が進む本町において、将来を担う中学生の、琴浦町に対する関心や認知度、及びふるさとへの愛着度等を把握し、将来、琴浦町に住みたい、帰ってきたいと思えるまちづくりへの参考とするものです。

【実施時期】 令和元年12月

【調査対象】 町立中学校の1年生から3年生 合計421人
(東伯中学校251人、赤碕中学校170人)

【回答率】 91.7% (回答者386人)

このアンケート結果について、次のとおり報告します。

令和2年3月5日

琴浦町長 小松 弘明

【問合せ先】 琴浦町地方創生推進室

電話番号 (0858)52-1708

ファックス (0858)49-0000

メール kikaku@town.kotoura.tottori.jp

集計結果について

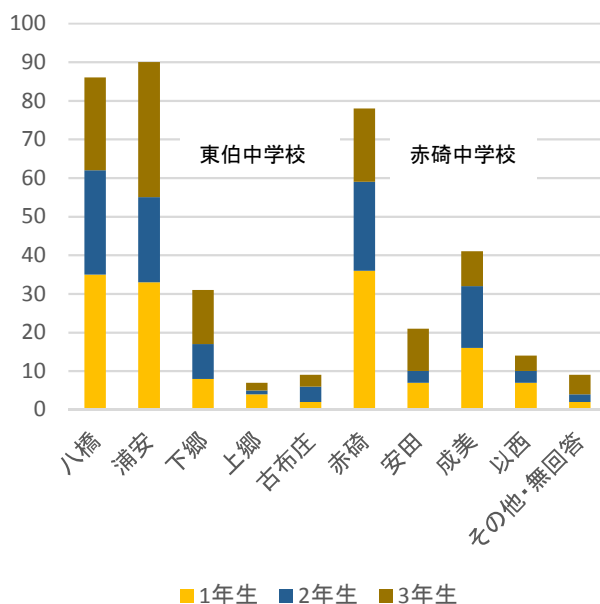
【問1】 アンケート回答者について

学校名	対象者	回答者	回答率
東伯中学校	251人	229人	91.2%
赤碕中学校	170人	157人	92.4%
合計	421人	386人	91.7%

回答者内訳(地区別)

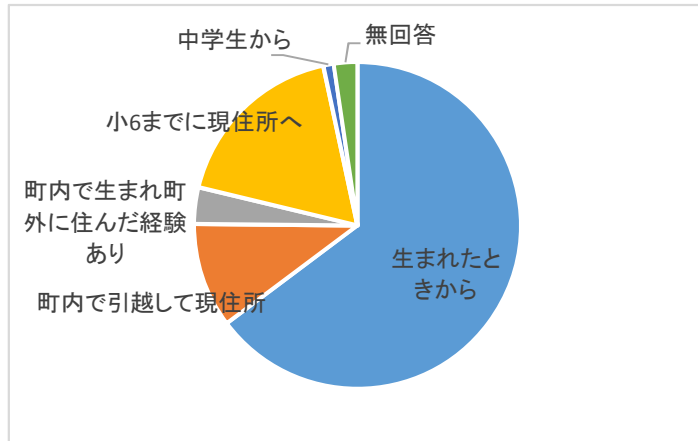
学校名	性別	1年生			2年生			3年生			小計	合計
		1	2	3	1	2	3	1	2	3		
東伯中学校	八橋	35	27	24	86	229						
	浦安	33	22	35	90							
	下郷	8	9	14	31							
	上郷	4	1	2	7							
	古布庄	2	4	3	9							
	無回答	2	1	3	6							
小計		84	64	81	229							
赤碕中学校	赤碕	36	23	19	78	157						
	安田	7	3	11	21							
	成美	16	16	9	41							
	以西	7	3	4	14							
	その他・無回答		1	2	3							
	小計		66	46	45		157					

(人) 地区別回答者数



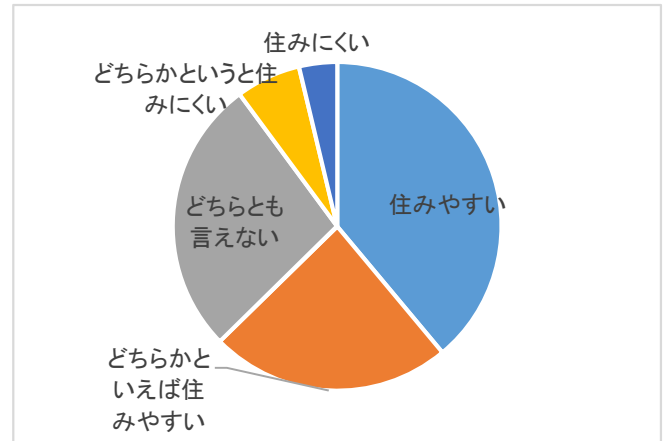
【問2】 いつから現在の場所に住んでいますか。

○およそ2/3の生徒が、生まれたときから現在の場所に居住している。



【問3】 琴浦町は住みやすいまちだと思いますか。

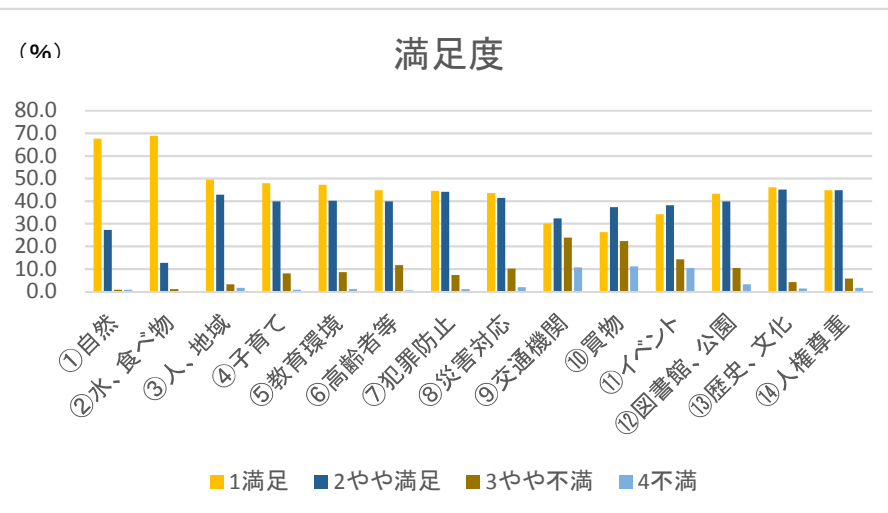
○およそ2/3の生徒が、住みやすい町だと回答している。



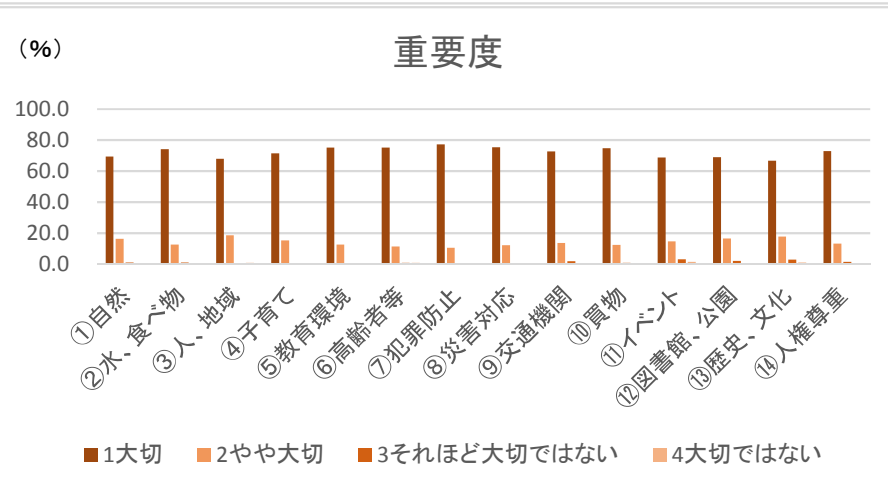
【問4】 次のことについて、どのくらい満足していますか。また、これからのまちづくりで大切だと思いますか。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 山や海、川などの自然の豊かさ | ⑧ 災害への準備や対応 |
| ② 水や食べ物のおいしさ | ⑨ 交通機関(バスや自動車など)の利用しやすさ |
| ③ 人のやさしさ、地域のつながり | ⑩ 買物などの利便さ |
| ④ 子どもの暮らしやすさ、子育てのしやすさ | ⑪ 祭りなどのイベントやレジャー施設の充実 |
| ⑤ こども園や小中学校などの環境のよさ | ⑫ 図書館や公園など町の施設の使いやすさ |
| ⑥ 高齢者、障がいのある人の暮らしやすさ | ⑬ 歴史や文化財などを大切にする取り組み |
| ⑦ 犯罪や交通事故を防ぐ取り組み | ⑭ 男女平等や人権尊重の取り組み |

満足度	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかといえば不満	4 とても不満
重要度	A とても大切	B どちらかといえば大切	C どちらかといえば大切ではない	D 大切ではない

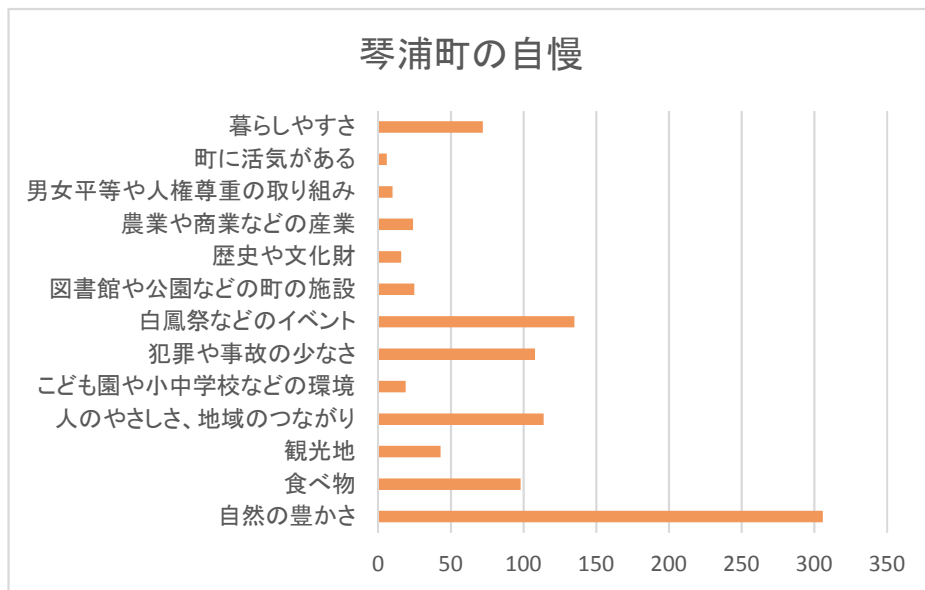


○自然や食べ物、人や地域のつながりに満足している生徒が多く、特に中山間地域ではその傾向がある。
 ○全体的に今の生活に満足している生徒が多い一方で、バスや公共交通や買物などに不満や不便を感じる生徒がやや多い。
 ○イベントなどを楽しむ機会や施設が少ないことを不満に感じている傾向がある。



【問5】琴浦町で自慢できるものは何ですか(3つまで)。

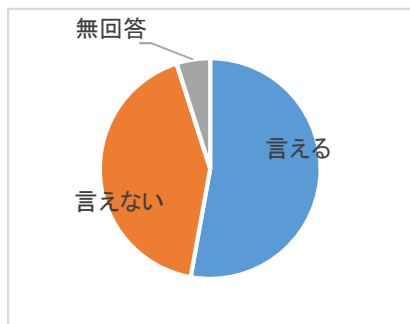
- 自然の豊かさや人のつながり、暮らしやすさは自慢と感じている割合が高い。
- 公共施設などの施設面や、観光地などについては低いですが、町の歴史や観光地などについて、あまり認知されていないことも要因と考えられる。
- 白鳳祭を挙げた生徒が増加したが、その他はH30とほぼ変わらない結果となった。



※回答の多かったもの
 梨、牛骨ラーメン、牛乳、海鮮、あごカツ、あごだし、ちくわ、食べ物
 白鳳祭、鳴り石の浜、船上山

【問6】琴浦町の名産品、観光地などを3つ以上言えますか。

- 名産品では特に、梨・あご製品、牛骨ラーメン、白バラ製品などが多い。
- 観光地では鳴り石の浜や船上山などの回答が多い。

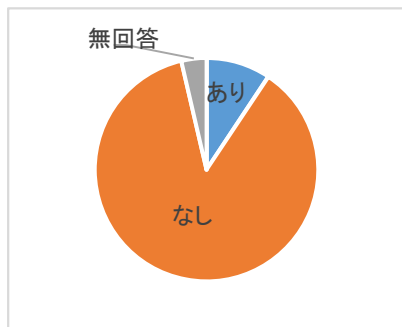


※「言える」と回答した割合が、H30より減少

※例えば
 名産品: 梨、あごかつバーガー、ちくわ、かまぼこ、ふろしきまんじゅう、白バラ製品、牛骨ラーメン、ブロッコリー、トマト
 観光地: 鳴り石の浜、船上山、風の丘、河本家住

【問7】琴浦町について関心や知りたいと思うことがありますか。

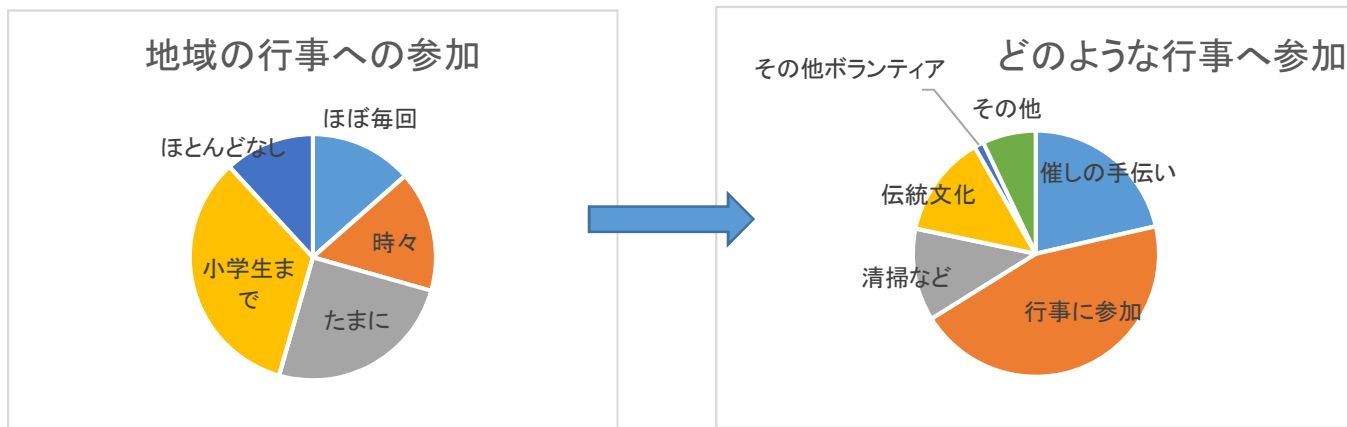
- 「関心あり」とした生徒が全体の1割弱で、町への関心がほとんどないか、一部の生徒に限られている。



※関心のあること(例えば)
 琴浦町の歴史や文化、町がどんな取り組みをしているか、海と水、白鳳祭、琴浦町の有名なもの、町名の由来、税金の使い道、名産品、祭などのイベント

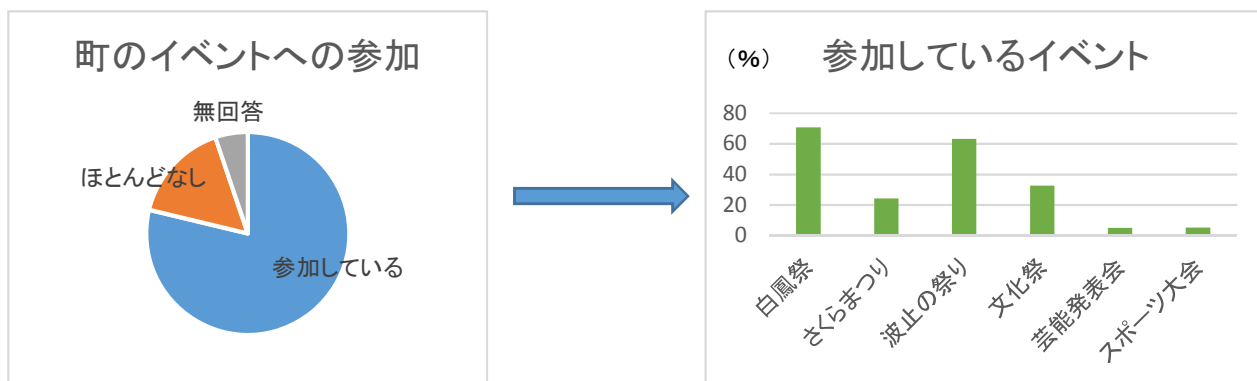
【問8】地域の行事に参加していますか。

- 小学校までは参加しているものの、中学生になると参加する機会が減っている。
- H30に比べ、参加している割合が下がった。
- 催し物に参加するだけの生徒が半数近くある中、催しの手伝いや清掃活動、伝統文化などの割合が増加。
- 参加しない理由で一番多いのが「めんどくさい」、次いで「部活があるから」。



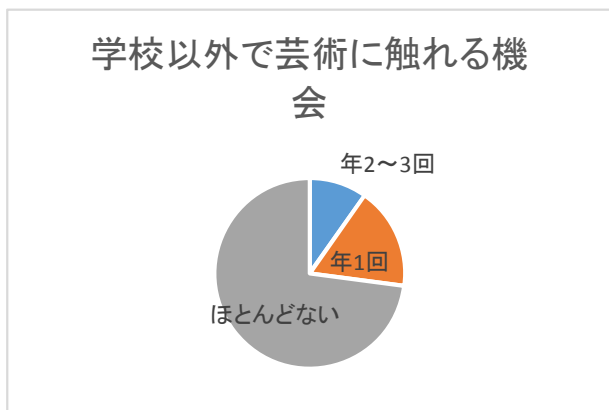
【問9】町内のイベントに参加していますか。

- 白鳳祭・波止の祭りは参加する割合が高い。
- 白鳳祭は、およそ半数が「毎年参加している」と回答。

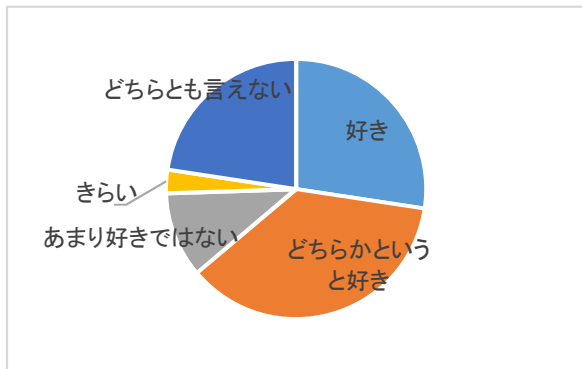


【問10】学校の授業以外で美術館や劇場などに行く機会がありますか。

- 多くの生徒が、学校以外で芸術に触れる機会が少ない傾向にある。
- 学校のカリキュラムによる観劇やコンサートは、芸術に触れる貴重な機会となっていると思われる。

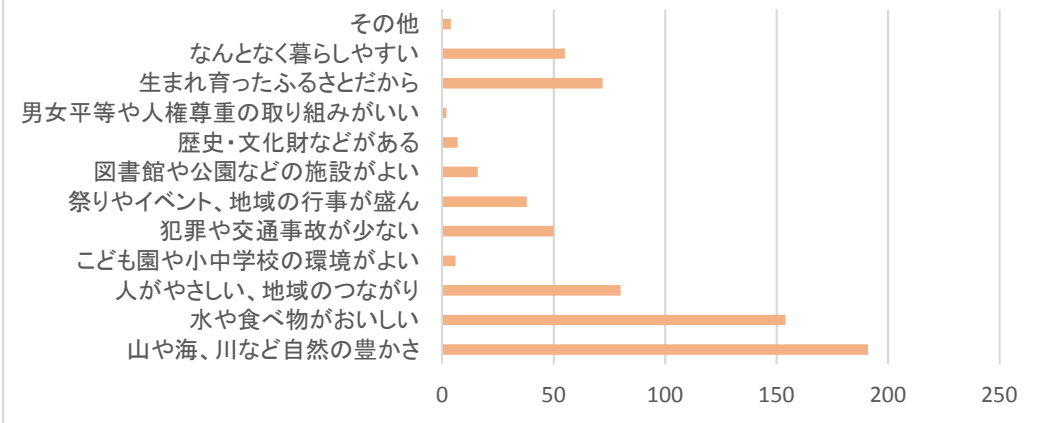


【問11】 あなたは琴浦町が好きですか。

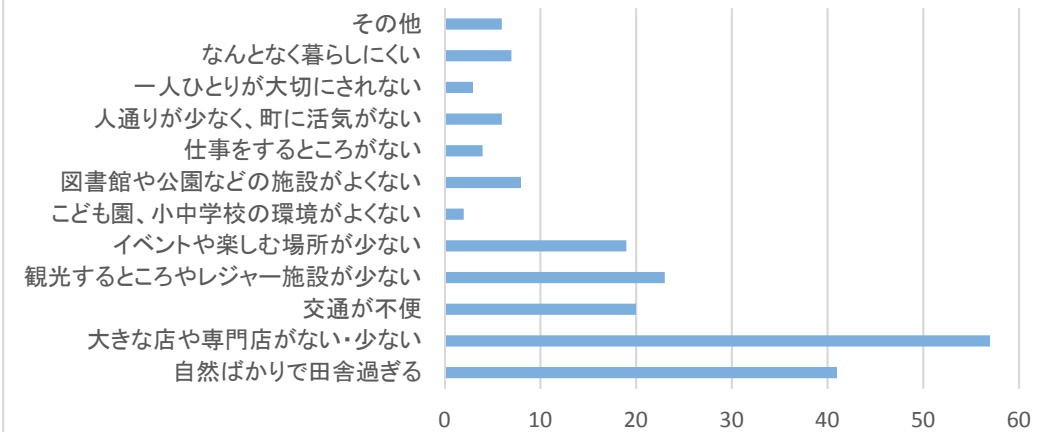


- およそ2/3の生徒が、「好き」「どちらかという好き」と答えており、地域差はほとんどみられない。
- 「好き」と答えた生徒がH30より増加。
- 「好き」な理由は、自然や食べ物、人のつながりが多いが、「イベントや地域行事」の割合が増加。
- 「好きではない」の理由として、観光やレジャー施設、大型店舗が少ないためとした割合が増加。

好きな理由

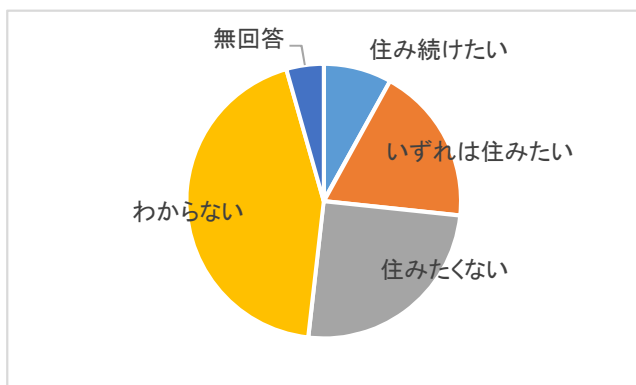


好きではない理由



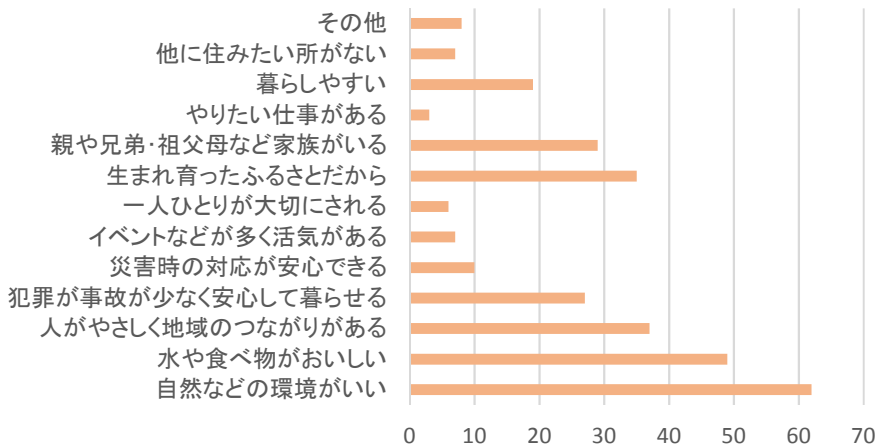
※その他
道がガタガタ、コンビニが少ない、全部、面白みがない

【問12】 大人になったとき(就職するとき)、琴浦町に住み続けたいですか。



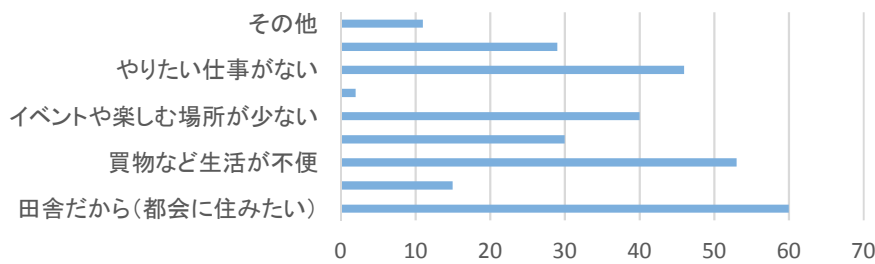
- およそ半数は「分からない」と回答。「住みたい」「いずれは住みたい」と「住みたくない」と答えた生徒が、それぞれおよそ1/4ずつで、同じ割合となっている。
- 住み続けたい理由として、自然環境の良さ、人とのつながりを上げる割合が増加。
- 「住みたくない」とした割合が若干減少。

住み続けたい理由



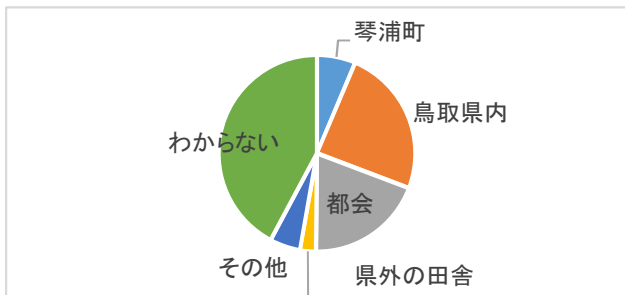
※その他
物価が安い、出て行くのが面倒

住み続けたくない理由



※その他
給料が安い、やりたい仕事があるから

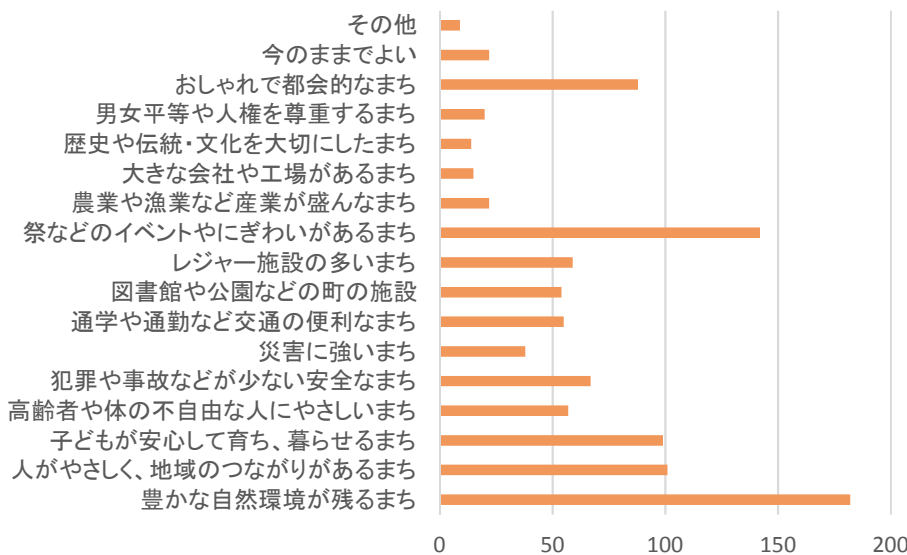
【問13】 自分が40歳になった頃、どこに住んでいたいですか。



- 「わからない」との回答が多い。
- 「琴浦町」とした割合がH30より若干増加。

【問14】 今後、琴浦町がどんな町になればよいと思いますか。

どんな琴浦町になるといいか

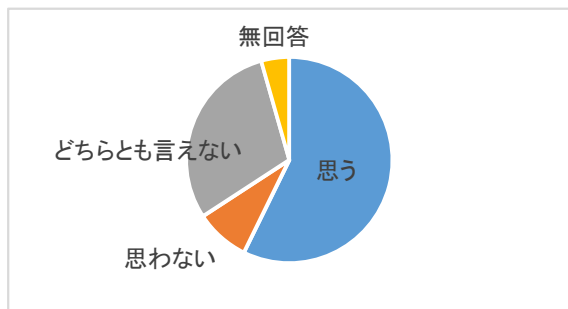


- 自然環境を大切に感じる一方で、イベントなどによる賑わいや都会的な雰囲気を求める傾向も多い。
- 中山間地域に暮らす生徒は、自然や地域のつながりを求める割合が若干高い。
- H30と比べ、「レジャー施設の多いまち」「災害に強い町」が増加。

※その他
静かな町

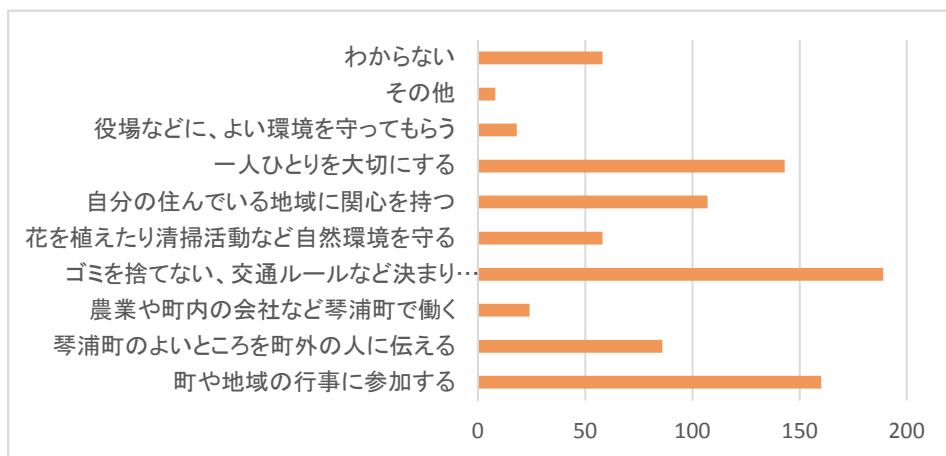
【問15】 琴浦町を良くしたり、元気にしたいと思いませんか。

- およそ6割の生徒が「良くしたい」と考えており、琴浦町への愛着がみられる。
- 「思わない」とした生徒はH30より若干増加。関心の低さが課題と考える。



【問16】 魅力的で住みたいと思えるまちとするために、今後あなた自身は何ができると思いますか。

- 中学生の立場でできることとしては、ルールを守ることや、地域の行事に参加するといった回答が多い。
- H30に比べ、自分が「できること」として答えた割合が全体的に増加。
- 「一人ひとりを大切にする」と答えた割合が増加。



※その他
ボランティアをする。海に遊具を作る。店を増やす。

【東伯中1年生のみ】

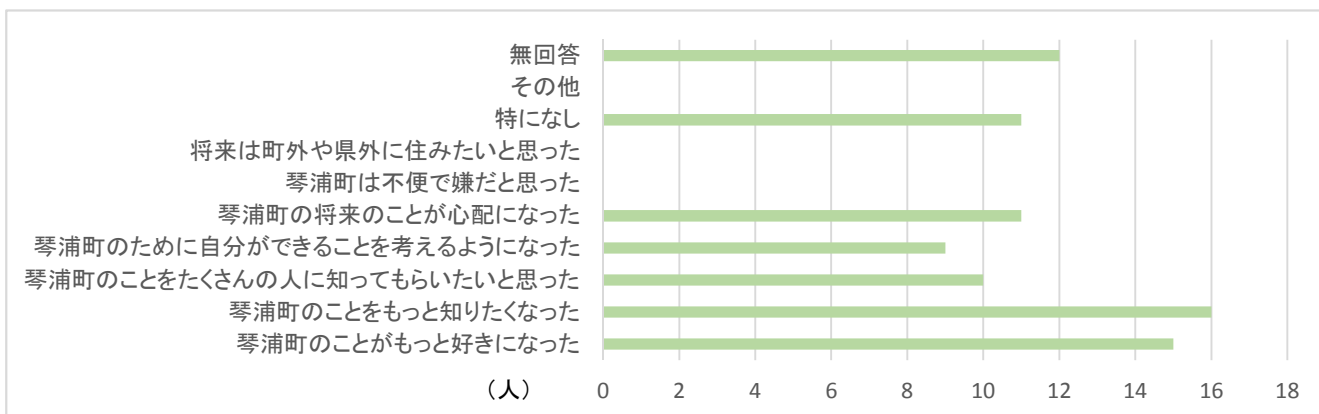
【問17】 今年の「総合的な学習の時間」の中で、気持ちに変化したことがありますか。

総合的な学習の時間

東伯中学校1年生は今年度、総合的な学習の時間において、「ふるさと琴浦町『より良い地域』をつくるために」に取り組みました。

町内で「より良い地域づくり」に取り組んでいる人たちから直接その思いや願いを学び理解するとともに、地域の一員として自ら課題や魅力を見つけ、調べ、積極的に地域に関わろうとする意識を育てることを目的に取り組み、その内容について、11月に開催された東伯中学校文化祭において代表者が発表しました。

- 地域で活躍する人たちの話を聞き「琴浦町がもっと好きになった」「もっと知りたくなった」とした生徒がH30より10ポイントずつ増加する半面、逆に「将来が心配になった」とした生徒も10ポイント増加。
- H30に比べ「無回答」の割合が大幅に増加。関心の低さがみられる。

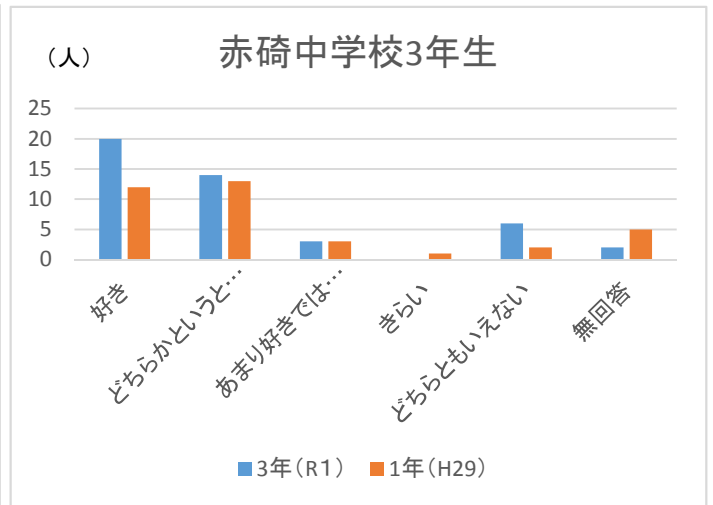
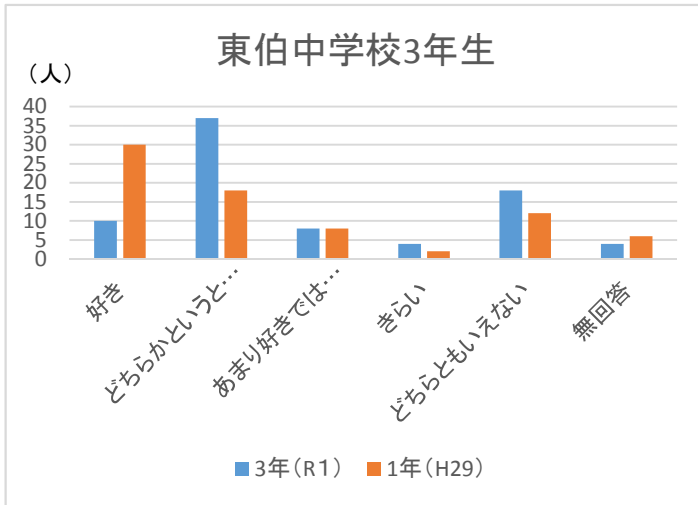


【3年間の比較】

このアンケートは、平成29年度から実施しました。

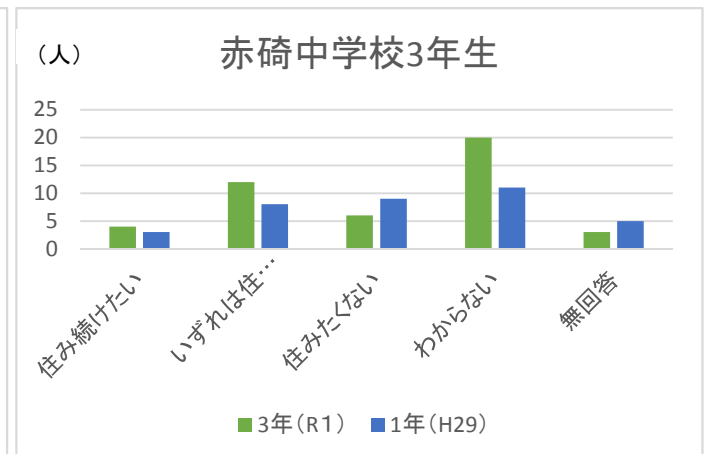
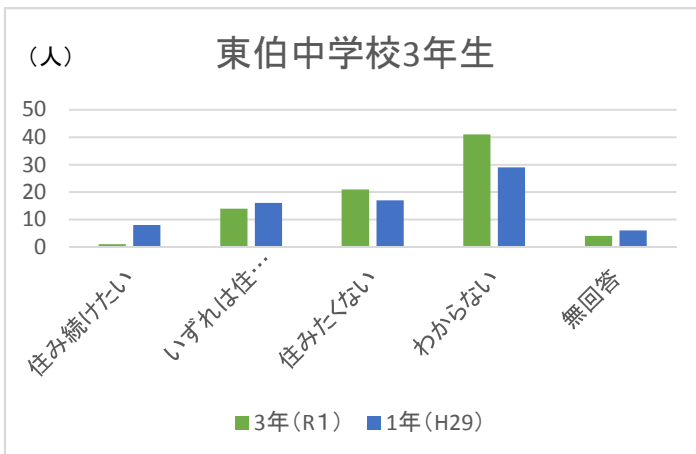
現在の中学3年生については、1年生から3年生までの3年間、このアンケートに回答していただいています。今回は、「琴浦町が好きですか」と「大人になっても住み続けたいか」の2問について、気持ちの変化を比較しました。

①琴浦町が好きですか。



○全体として「どちらともいえない」割合が増えたが、赤碕中学校では「好き」の割合が大きく増加した。

②大人になったときに住み続けたいですか。



○「わからない」とした割合が増加したが、東伯中学校では「住みたくない」が増加した反面、赤碕中学校では「いずれは住みたい」が増加。

【問18】 あなたがもし町長になったら、どのような町にしたいですか。それを実現するためにはどうしたらいいと思いますか。(自由記載)

不便がないような町にしたい。町民が不満を持たない町にしたい。飲食店やスポーツ店を増やす。まちを知ってもらうため、昔から引き継がれていることを利用する。自然などを大切にして祭りを楽しむ。暮らすことが楽しく、安全なまち。小中学校の環境を良くし、誰もが健康に安全に暮らせる町に。自然環境が良い町、木を切らず自然と触れ合うアスレチックを作る。事故や犯罪をなくし災害に対応できるまち。八橋・浦安を都会にして、他を自然を多くする。サッカー場がたくさんある。みんなが笑顔になれるまち。町民の意見を聞き入れ、改善を積極的に行う。他の自治体から関心を持ってもらえるよう、色々な町に行き琴浦町の良さを伝える。若い人を増やし、自然がありながらも都会といういい県・町にしたい。何でも揃うモールを1つ作る。色々なことに参加する町にしたいので、自分も色々なことに参加すればよいと思う。空き家を利用してフリーマーケットをつくる。地域とのつながりや琴浦町の良さを工夫して県外の人に伝え、観光客や移住者を増やし楽しい町にしたい。人を呼び込むような魅力ある町にしたい。公共交通機関の改善。全国的にも人気のあるもの(施設など)を設置。歴史を大切にしたいまち(斎尾廃寺を建てる)。町全体が賑やか(イベントなどを増やす)。今も犯罪はないけど安心せず注意を呼びかける。地域の人との交流ができ、幅広い年代の人が参加したいと思えるイベントをつくる。若い人たちが来たいと思うような町の実現のため、昔ながらのものを取り入れながらも、はやっているものとあわせた観光地をつくる。あいさつを積極的にできるまち(役場の人たちと一緒にあいさつ運動をする)。観光地や有名な食べ物をもっと知ってもらうために宣伝する。遊べる施設を建てる。外に出たくなるようなまち(並木を植えて季節ごとに風景が変わるように)。今のかたちを留めつつ、オタクに特化した町。高齢者や体が不自由な人が住みやすいように。全町民が琴浦町を愛している町。一人ひとりを大切にし、安心して過ごせるような人

づくり。自分に自信が持てるまち。親近感があり地域にやさしい町長になれば多くの人が参加してくれると思う。

ドラマの撮影地にする。有名人を連れて帰ってくる。きれいごとでないアンケートを配り偽りのない意見を取り入れる。公園の整備、道路を広くする。今の状態と違うまち。大手企業を呼び込み、都市化。白鳳祭をなくさない。町外からも人が集まるようなイベントをする(そのために小学校・中学校にしてほしいことなどをアンケートする)。バス・汽車を30分に1回に。いまの琴浦町は大人向けの建物ばかりなので、もっと若者向けの町に(大型店やカフェなど)。身近な人から笑顔にする町。交番や伝統など設置して治安がいい町にしたい。都会的でオシャレなところがたくさんあるまち。人権を尊重するまち(お互い認め合う)。自ら町に出て行かないと分からない、もっと最先端をいって、すべての命を背負うつもりで努力する。学校施設が整い、新しい教育や進め方を導入したり、外国や他県との交流をたくさんさせる。子育てしやすいまち(こども園〜小中学校の給食費や医療費を無料にする)。いじめのない平和なまち。

観光スポットを無理やり増やし、人を住ませて税金を増やし、設備を増やす。登下校の街灯を増やす。ラーメン屋を増やし、ラーメンの町にする。部活の場所、ジムを作る。人とのつながりを大切にすまち。口だけでなく行動したい！地域住民とよく触れあい若い人が住みやすいようにする。もっと琴浦に興味を持つ。アウトレットモール、大型デパートをつくる。駅を増やし近代的にリニューアルする。人のことを考えて発言する人が多いまち。高齢者に優しいまち(スーパーが多い、免許証がなくてもバスなどで移動できる)。人口減少は止めることができない、今いる町民を大切に。子どもの教育に力を入れる。大人になっても住みたいと思う町にしたい。空飛ぶ車を作ったりする。祭の規模を大きくする。山や海を大切に、自然環境、伝統を残したままの住みよいまち。有名な町にするため宣伝する。今の良さを生かす、あまり都会化したくない。海を工事しない、土地開発を少し休む。子どもにかかるお金を安くする。全町民が協力的なまち。今までの静かな町。住んでいる人が好きと言える町に。以西とか山奥のことも考えられる町長、いろんな時間帯にその町に行き何が不便か考える。アーティストのライブを増やす。もっとまちをアピールして人を増やし、お金を増やす。

若者受けが良い店を増やす。CMでアピールする。自然は残したままで交通の便利な町に。町長なら自分のことよりも相手のために行動して喜んでもらえるようにする。インターネットとかでアンケートを取りそれをもとにより良い町にしていく。賑やかな町になるよう祭を増やす。津波対策をバッチリに。安心できるまち(犯罪を減らす取り組み、一人ひとりを大切にする)。スポーツなどで活躍している人がもっと伸びるようにしたい。災害時の食料や発電による電気の供給の仕組み。高齢者や体の不自由な人に優しいまちを実現する為に、地域の行事に積極的に参加する。若者のニーズに合った施設を増やす。一人ひとり寄り添い支え合う町長になりたい。観光地を増やす、そのために若い年代の人々を町内に呼ぶことが大切。町民の人がたくさん関われる町にしていきたい。漫才などで笑いの絶えないまち。町外に出て行かないように住宅地を増やし暮らしやすい町をつくる。もっと緑の多い町。自然がいいところはどこにでもあるので、1つでも他の都道府県にないものを生み出してアピールする。都会ではできないことをする。みんな元気で差別について話し合える町にしたい。

イオンなどがあり買物に行ければいい町になる。ボランティアでの清掃、琴浦町の良さを伝える。金を無駄に使わない。人と人との関わりを多くする。災害での大きな損害がないようにする。図書館や本屋を増やしたり公園を綺麗にしたりなど活気がある町にしたい。豊かな自然環境が残るために生物の調査をする。観光に力をつけたり県外の人と婚活パーティーなどをする。周りの人から「いい町だね」と言われるような町。

アンケート結果から

このアンケートは、将来の社会を担っていく琴浦町の中学生が、地元地域に対し、どのような思いを持っているかを知り、今後の地方創生の取り組みに生かそうと実施したものです。

その結果、多くの生徒が琴浦町を好きだと答え、暮らしにはおおむね満足はしているものの、交通機関や買物などの不便さや、イベント・芸術などの楽しみに関しては満足度が低い傾向にありました。

中学生という年代では、ほとんどの生徒がふるさと以外での生活を知らない中で、進学や将来の職業を考えたとき、県外に目が向きますが、これまでと違う場所での経験や発見、刺激も人生の中では大切であり、新たな生活の中から、故郷への思いが生まれてくることも多いのではと考えています。

もちろん、地元が好きだと思うことと、地元に残るか離れるかの選択は個人のものでありますが、中学生までの若い時期に、いかに琴浦町の良さを知り、語れるか、そのことが大人になってからの愛着や誇りに繋がってくると考えています。

町では、中学生までの年代に少しでも琴浦町に関心を持ち、大人になったときに、どこで暮らしていても故郷に愛着や誇りを感じ、関心を持ち続けられる人を育てるため、引き続き様々な取り組みを進めていきたいと考えています。